NTT 西日本



News Release

西日本電信電話株式会社

(報道発表資料)

2024 年 7 月 16 日 石垣市 西日本電信電話株式会社 沖縄支店 株式会社 NTTSportict

石垣市における「スポーツ DX による地域コミュニティ活性化をめざした 取り組み『マチスポ』」の実証を開始 ~スポーツ DX ソリューションを導入し、「マチスポ石垣市ポータル」を新規開設~

石垣市(市長:中山 義隆)、西日本電信電話株式会社 沖縄支店(支店長:古江 健太郎、以下、NTT 西日本)、株式会社 NTTSportict(代表取締役社長:中村 正敏、以下、NTTSportict)は、2024年5月23日(木)に、石垣市における「スポーツ DX による地域コミュニティ活性化をめざした取り組み『マチスポ』に関する包括連携協定」(以下、連携協定)を締結し、スポーツ大会のライブ配信に必要な AI カメラ等の設置工事を進めてまいりました。

この度、石垣市の主要なスポーツ施設(石垣市中央運動公園総合体育館、ロートスタジアム石垣、サッカーパークあかんま)へ AI カメラ等の設置が完了し、応援コミュニティプラットフォーム「マチスポ石垣市ポータル」を通じて、3 施設で開催される試合を配信する等、スポーツ DX を通じたまちづくり(マチスポ)の実証を開始します。

今後、3者は、連携協定に基づき、スポーツ大会や試合の発信力の強化、生涯スポーツ の振興による地域コミュニティの活性化等を図ることで、石垣市スポーツ推進計画(2020年3月石垣市)を加速させていきます。

1. AI カメラ等を設置した施設の紹介

・石垣市中央運動公園総合体育館 メインアリーナ AI カメラ 1 台、スコアボードカメラ 1 台、固定カメラ 1 台を設置



・石垣市中央運動公園総合体育館 サブアリーナ AI カメラ 1 台とスコアボードカメラ 1 台を設置



・ロートスタジアム石垣(石垣市中央運動公園野球場) 野球専用 AI カメラ(ホーム側:1台、センター側:1台)とスコアボードカメラ1台 を設置







・サッカーパークあかんま AI カメラ 1 台を設置



2. 「マチスポ石垣市ポータル」の開設

AI カメラ等の設置工事の完了に伴い、応援コミュニティプラットフォーム「マチスポ石 垣市ポータル」の運用を開始しました。

「マチスポ石垣市ポータル」の閲覧者は、AI カメラで撮影された試合や練習風景の映像をリアルタイムで視聴でき、コメントの入力により、チームや競技者を応援することができます。また、撮影した映像はポータル内に記録されるため、競技者は試合・練習の映像を振り返ることで、競技スキルの向上につなげることができます。

さらに、「マチスポ石垣市ポータル」では、石垣市が運営するスポーツ活動等のお知らせ を発信していきます。

「マチスポ石垣市ポータル」は、スポーツを通じて、石垣市、地元チーム、地域住民を つなぐ地域交流の場として運営していきます。

なお、「マチスポ石垣市ポータル」には、下記に記載の URL 等よりアクセスできます。



▼マチスポ石垣市ポータル

https://web.spo.live/group/dsrf004e1g(WEB版)

※iOS/Android のスマホ専用アプリ「SpoLive」をダウンロードすることで、 応援チャット等、全ての機能を利用できます。

3. 今後の展開

2024 年 7 月 20 日(土)にロートスタジアム石垣で開催される第 149 回夏季学童軟式 野球大会より順次、配信を実施します。

また、主要なスポーツ施設の利便性向上による生涯スポーツ振興を通じた社会効果(健康・長寿の維持増進や地域間交流の活性化等)、スポーツ大会や試合の発信力強化を通じた経済効果(地域外からの収益獲得等)を創出するとともに、スポーツ DX ソリューションを通じて、身近で気軽に参加できる新たな地域コミュニティの形成・活性化をめざします。

石垣市民の皆さま等に、日常的な練習やスポーツイベントで今回導入したスポーツ DX ソリューションを活用いただくことで、本実証の効果を検証しつつ、AI カメラ等の設置場所の拡大や更なる利用シーンの創出に取り組んでまいります。

こうした取組みを通じて、スポーツ大会や試合の発信力の強化、生涯スポーツの振興による地域コミュニティの活性化等を図り、石垣市スポーツ推進計画を加速させていきます。



※ニュースリリースに記載されている情報は、発表時点のものです。現時点では、発表時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承いただくとともに、ご注意をお願いします。

(※別添)

●スポーツ D X ソリューションについて

今回、石垣市の総合体育館など石垣市内の主要スポーツ施設に設置する無人撮影カメラには、AIによる自動撮影や編集機能を備えています。現在、バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、サッカー、ラグビーなど16競技の撮影に対応しており、さまざまなスポーツを撮影することができます。

野球場には、ホーム側とセンター側の映像を自動で切り替えできる野球専用 A I カメラを 設置します。

また、固定カメラも設置し、AIカメラと組み合わせることで撮影の幅が広がります。



※A I 自動編集イメージ

●スポーツ DX によるまちづくり「マチスポ」について

地域スポーツを活用したコンテンツを無理なく継続的に制作・運用できる仕組みとして、マチスポプラットフォーム(自動映像化+コミュニティ)を活用し「地域スポーツによるまちづくり」施策を点から線、そして面へと拡大していきます。

① A I カメラ等によりスポーツ施設で行われる試合などを自動で撮影、映像コンテンツ 化します。 ② オンラインコミュニティプラットフォームでリモート観戦環境を提供、地域固有コンテンツを発信していきます。試合を観戦しながら応援メッセージを書き込むこともできるので、地域コミュニティの輪が広がります。



(参照) https://machispo.nttsportict.co.jp/

●本件に関連する過去の報道発表 石垣市における「「スポーツ DX による地域コミュニティ活性化をめざした取り組み『マ



(左から、NTTSportict 代表取締役社長:中村正敏、石垣市長:中山義隆、NTT 西日本沖縄支店長:古江健太郎)

«各者の報道発表資料»

石垣市: https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/sports_koryu/1_1/9848.html

NTT 西日本:https://www.ntt-west.co.jp/newscms/okinawa/13845/okinawa_n20240523a.pdf

NTTSportict: https://nttsportict.co.jp/topics/20240523_ishigaki/

審査 24- S 480